学校番号	３０２６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	芸術「美術Ⅰ」日本文教出版						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

美術活動を通し、伝統や文化、歴史、地域、社会に触れ、異なる人々と共によりよく生きる力を育んでもらえるよう、主体的に授業に取り組み、芸術の多様性を探求し、その価値を高めていってもらいたい。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組むことで美術の機能及びコミュニケーションを学び、美術を通した思考や社会の機能を理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組むことで美術の機能及びコミュニケーションを学び、美術を通した思考や社会の機能を理解する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	4 5	環境が造形思考にどのような影響を与え、制作行為につながるのか、絵画制作を通して学習する。	a: 主題に合わせた表現方法を工夫している。 b: 作品のアイデアがどのように展開できたのか言語化することが出来ている。 c: 美術制作の振り返りを形式と内容から述べることができている。	ワークシート・プロセス・発表	ワークシート・プロセス・発表	ワークシート・プロセス・発表・活動の様子

	6 7	素材と空間からどのような思考があり、アイデアが生まれ作品になっていくのか、付箋を用いて学習する。	a: 校内の空間・場所・モノなどの情報や内容をくみ取り制作材料である付箋をどのように扱ったのか、「アイデアの着想展開」・「プロセス(試行錯誤)の内容」から説明できている b: テーマにした空間(場所・モノなど)のどのような点を作品の要素として扱い、付箋という材料にしたのか「空間の情報・内容・特性」「内容と形」についてから具体的に言及ができている。 c: 美術制作の振り返りを形式と内容から述べることができている。	プロセス・活動の様子・作品	プロセス・活動の様子・作品	プロセス・活動の様子
2	9 10	美術制作における形式と内容の関係性とイメージについて写真表現から学ぶ。	a: 与えられたテーマを広げて、客観性のある具体的なテーマに解釈し直した過程が記述できている素材について、テーマと明確な関連性をもって選択した理由が記述できている b: 完成作品の形式と設定したテーマがどのように一致しているか、平面作品というメディアの特性含めて説明できている c: 内容と作品形式が明確に一致させるために、素材を効果的に扱ったことを説明できている	プロセス・活動の様子・作品	プロセス・活動の様子・作品	プロセス・活動の様子
	11 12	言葉から派生するイメージやテーマを設定し、立体や絵画をメディアとして作品制作を行う。	a: 与えられたキーワードから作品のアイデアがどのように発展したのか、具体的に過程が記述できている内容と作品形式が明確に一致させるために、素材を効果的に扱ったことを説明できている b: 素材について、テーマと明確な関連性をもって選択した理由が記述できている 選択したメディアについて、内容から具体的に説明することができている完成作品の形式と設定したテーマがどのように一致しているか、自身が選択したメディア(絵画や立体など)の特性含めて説明できている c: 内容と作品形式が明確に一致させるために、素材を効果的に扱ったことを説明できている	活動の様子・ワークシート・コミュニケーション能力	活動の様子・ワークシート・コミュニケーション能力	活動の様子・ワークシート・コミュニケーション能力
3	1 2 3	QR コードの中に作品情報を入れ、場所をコンテクストに設定し作品制作を行う	a: 自分が設定したテーマが伝わるように、素材を加工しカタチにすることができている。 複数の素材を組み合わせて、複雑な作業を行い、技術的にも高い作業が行えている。 b: 内容と作品形式が明確に一致させるために、素材を選択し効果的に扱い制作することができている QR コードという提出形式を踏まえて、QR コードに入れる作品のメディアを選択することができている。 c: QR コードを置く場所を想定して作品の内容を設定することができている。 QR コードと場所の文脈を作品に効果的に反映することができている。 自身の作品が誰かにどのように見られるか具体的に想定して作品を作ることができている。 作品の内容に客観的な視点が反映されている。	プロセス・活動の様子・作品	プロセス・活動の様子・作品	プロセス・活動の様子

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度